

平成28年第5回（12月）定例会 議案に対する質疑通告（発言順位）

議案第60号 平成28年度牧之原市一般会計補正予算（第4号）

1. 1番 平口朋彦 議員

1 歳出 3款 2項 1目 子育て支援連携システム運用事業費

システム導入業務 1,329千円

- (1) 子育て支援連携システム（まきはぐ）の機能追加による増額とのことだが、今回追加される機能のうち「市民記者投稿支援システム」の詳細を伺う。市民記者は牧之原市民であれば誰でもなれるのか。また投稿者に対しての謝礼の有無や当該システム（市民記者投稿支援システム）運用に際してランニングコストは発生するのか。

2. 2番 大石健司 議員

1 歳出 8款 2項 2目 市道維持補修費 橋梁銘板等修復工事 1,400千円

- (1) 犯罪行為により発生した修復工事費用を補正予算で措置することの正当性と緊急性を問う。逮捕された容疑者からの賠償の見通しは立っているのか。

3. 14番 大石和央 議員

1 歳出 4款 1項 2目 狂犬病予防及び愛玩動物保護費

飼い主のいない猫不妊去勢手術助成 補助金 225千円

- (1) 猫不妊・去勢手術費の助成はなぜ実費の半額なのか。

2 歳出 6款 2項 2目 鳥獣保護対策費 報償金 729千円

- (1) イノシシ捕獲における報償金の根拠は何か。

3 歳出 9款 1項 5目 （都市防災）津波防災まちづくり事業費 補償金 10,700千円

- (1) 詳細説明を求める。

議案第64号 牧之原市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定について

1. 1番 平口朋彦 議員

- 1 本条例案は、国のいじめ防止対策推進法第14条に基づき「連絡協議会」の設置を目指すものであるが、市内に住む児童、生徒が通う小中学校が14校に及ぶことを踏まえた上で委員の定数を25名以内とする妥当性は。

2 委員の内訳は。また第4条第2項にある(1)牧之原市立学校の関係者にはPTA役員も含まれるのか。

3 会議の開催は会長による招集とのことだが、どの程度の頻度を想定しているのか。

議案第67号 指定管理者の指定について（牧之原市立坂部保育園）

1. 10番 太田佳晴 議員

1 市長の提案通りこの議案を議決した場合、学校法人榛原学園は市が新築した3つの保育園を指定管理することになる。静波保育園、細江保育園、坂部保育園それぞれの園の建築費と3園合計の建築費を改めて示していただきたい。

2 公立保育園を指定管理して民間経営とする主な目的の一つとして「多様な保育の導入による保育の質の向上」がある。

公共施設である公設保育園を一部の民間に偏って運営させることにより、指定管理者制度を実施する大切な目的から大きく逸脱することになると思われるが、この点についてはどのような考えで選定したのか。

3 税金で設置された複数の施設を一部の民間法人に偏って指定管理することは、税が公共の福祉のために還元すべきとの大原則からも、公平性において大いに問題があると思われる。また施設の起債が償還するのを目処に完全民営化を予定しているということだが、どのように公平性を保ち完全民営化を進めるのか、市の公平性維持の立場から考えを示していただきたい。

2. 14番 大石和央 議員

選定委員会では、「2法人とも指定管理者として委託することができる一定の基準の能力を有するものと判断」している。2法人の評価において順位で決定した選定は、それなりの合理性において理解できる。しかし、数値化による順位によって、指定管理者として3園目の保育園も当該法人に委託させる政策判断がわからない。

法人らが指定管理者として運営できる一定の能力を有しているならば、それぞれの特徴を活かし、取り入れながら止場していく姿が望ましいではないか。